

# 卷 末 資 料

### 京都大学女性教員数 (医療短期大学を含む)

	93・4・1	94・1・1	95・1・1	95・7・1	96・2・1
教授	6	7	10	9	9
助教授	21	21	18	19	19
講師	8	7	8	10	11
助手	71	75	74	74	76
計	106	110	110	112	115

### 京都大学女性教員数 (医療短期大学を除く)

	93・4・1	94・1・1	95・1・1	95・7・1	96・2・1
教授	4	4	5	4	4
助教授	13	13	13	13	13
講師	6	5	6	6	7
助手	64	67	65	65	67
計	87	89	89	88	91

### 京都大学女性教員比率

(1993年4月1日現在・医療短期大学を除く)

	総数	うち女性教員
教授	726	4 (0.6%)
助教授	691	13 (1.9%)
講師	158	6 (3.8%)
助手	1,095	64 (5.8%)
計	2,670	87(3.3%)

### 京都大学女性教員比率

(1995年7月1日現在・医療短期大学を除く)

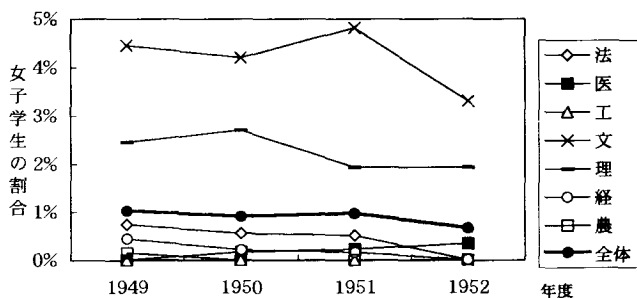
	総数	うち女性教員
教授	808	4 (0.4%)
助教授	674	13 (1.0%)
講師	154	6 (3.9%)
助手	1,032	65 (6.2%)
計	2,668	88 (3.3%)

### 京都大学医療短期大学女性教員比率

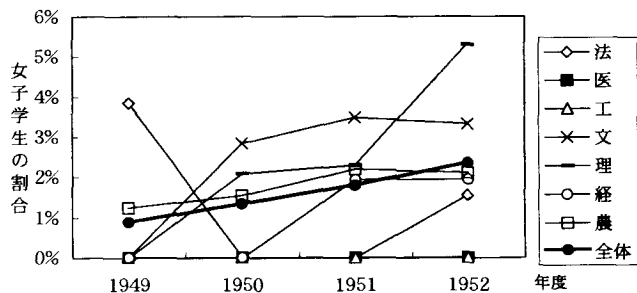
(1995年7月1日現在)

	総数	女性教員
教授	18	5 (27.8%)
助教授	15	6 (40%)
講師	4	4 (100%)
助手	14	9 (64.2%)
計	51	24 (47.0%)

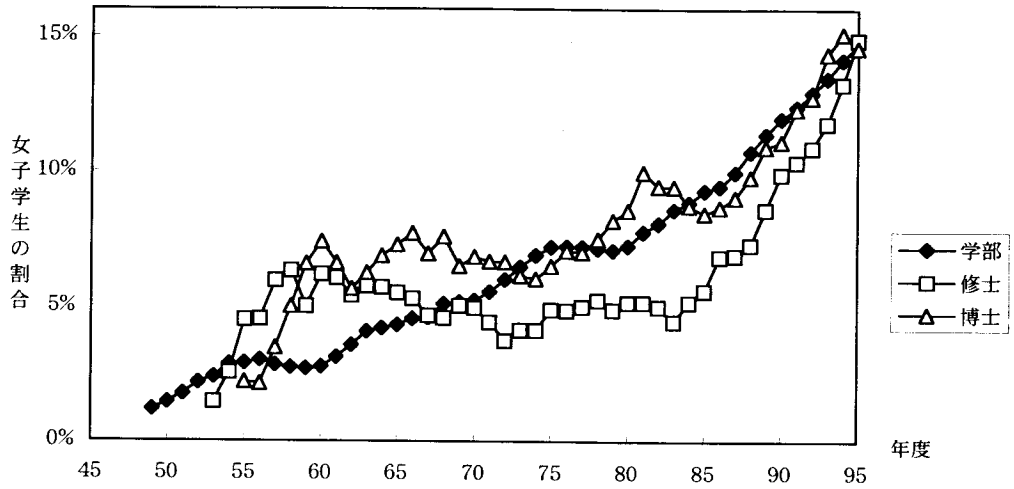
旧制本科における女子学生の割合



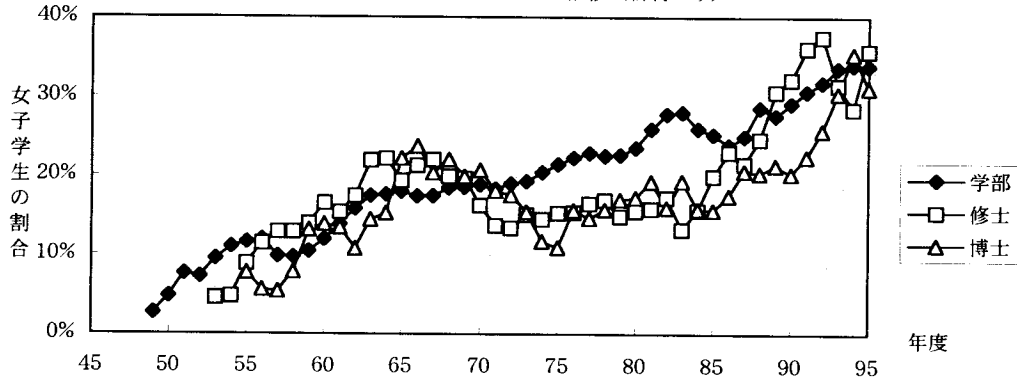
旧制大学院における女子学生の割合



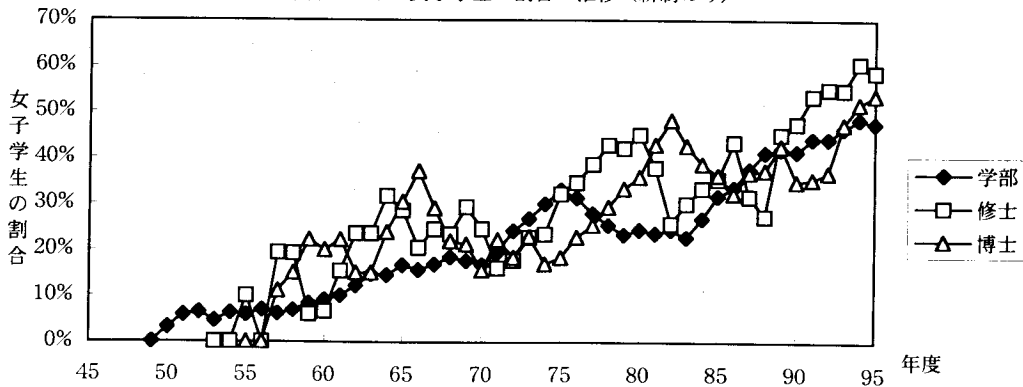
全学生数に対して女子学生が占める割合の推移（新制のみ）



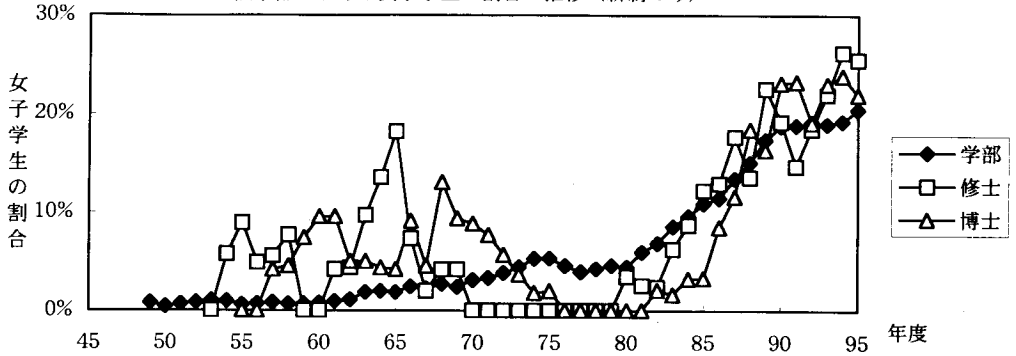
文学部における女子学生の割合の推移（新制のみ）



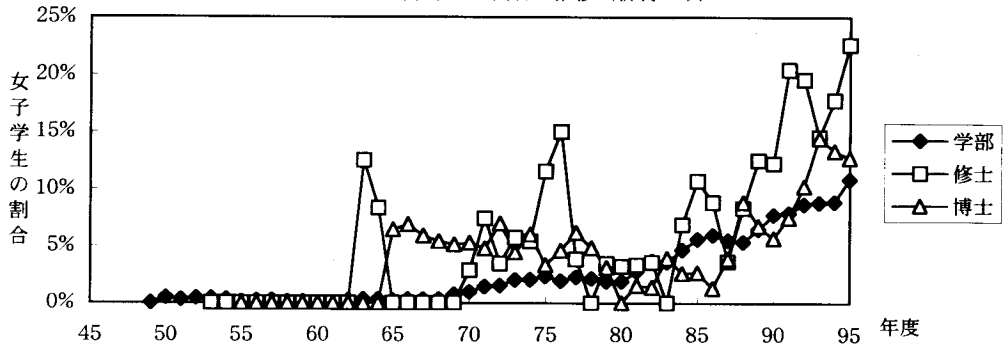
教育学部における女子学生の割合の推移（新制のみ）



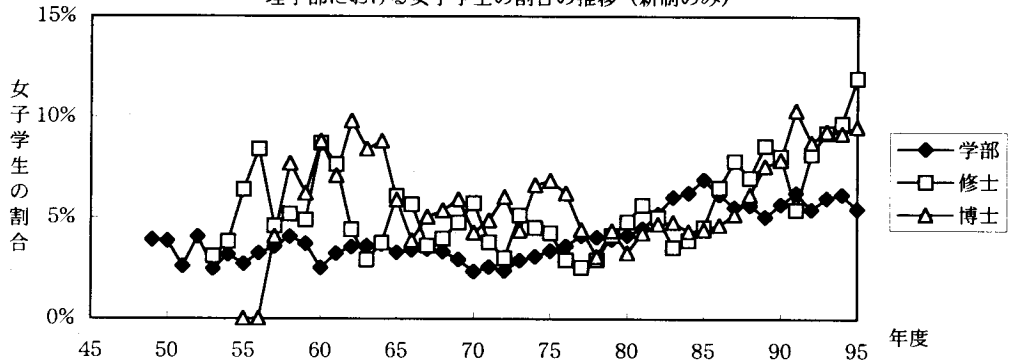
法学部における女子学生の割合の推移（新制のみ）



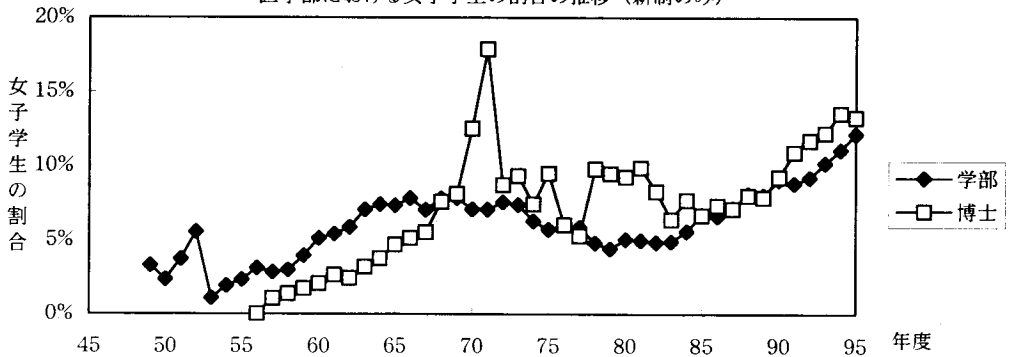
経済学部における女子学生の割合の推移（新制のみ）



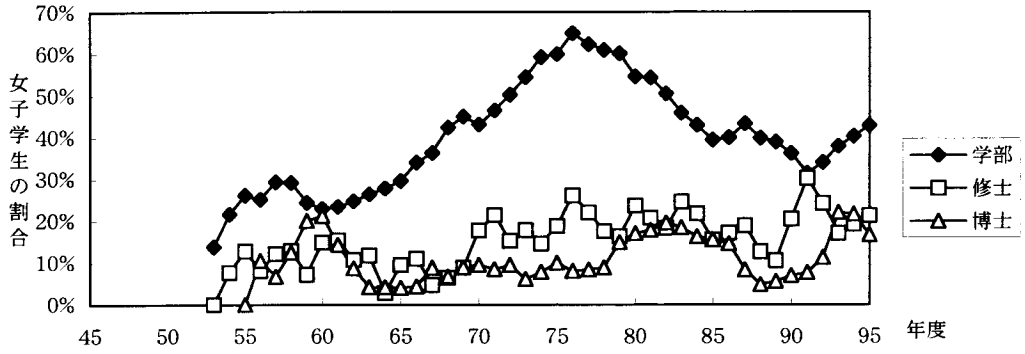
理学部における女子学生の割合の推移（新制のみ）



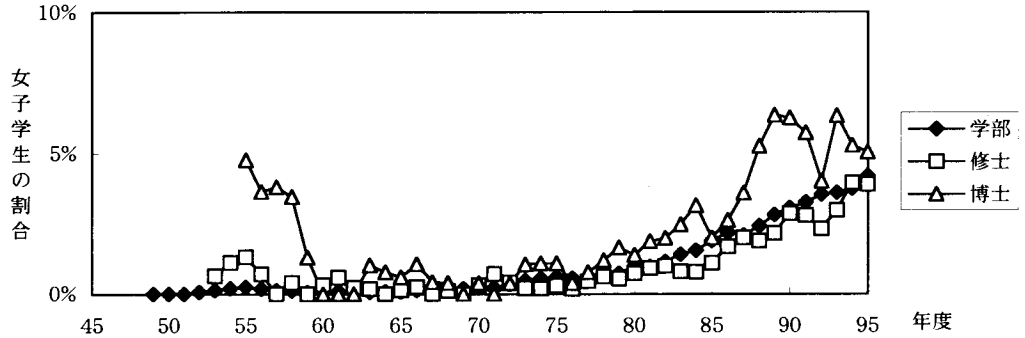
医学部における女子学生の割合の推移（新制のみ）



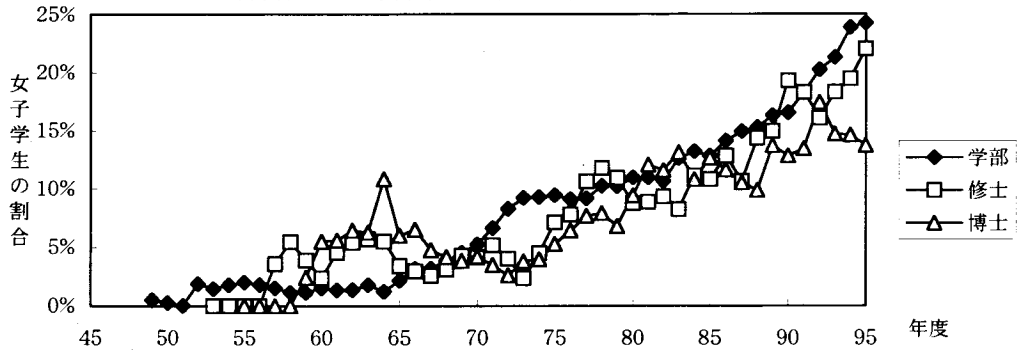
薬学部における女子学生の割合の推移（新制のみ）



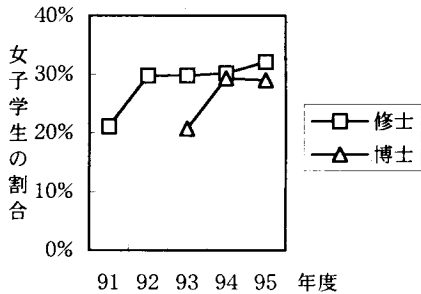
工学部における女子学生の割合の推移（新制のみ）



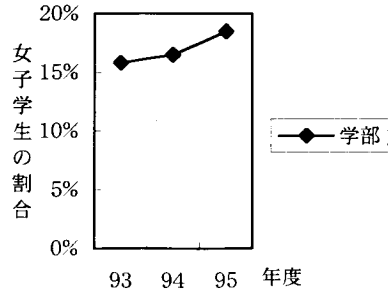
農学部における女子学生の割合の推移（新制のみ）



人間・環境学研究科における女子学生の割合の推移



総合人間学部における女子学生の割合の推移



国立大学教員数大学別一覧

(平成4年度)

教員の職階 大学名	教授・助教授・講師			教授・助教授・ 講師・助手			教員の職階 大学名	教授・助教授・講師			教授・助教授・ 講師・助手		
	男	女	女性比率	男	女	女性比率		男	女	女性比率	男	女	女性比率
お茶の水女子大学	109	59	35.1%	115	90	43.9%	長崎大学	531	22	4.0%	788	71	8.3%
奈良女子大学	124	31	20.0%	137	52	27.5%	福井大学	246	10	3.9%	274	11	3.9%
東京外国語大学	187	36	16.1%	203	41	16.8%	金沢大学	621	25	3.9%	858	53	5.8%
奈良教育大学	100	15	13.0%	103	15	12.7%	岡山大学	796	31	3.7%	1,165	69	5.6%
図書館情報大学	41	6	12.8%	51	9	15.0%	鹿児島大学	662	5	3.6%	945	70	6.9%
東京学芸大学	305	44	12.6%	330	51	13.4%	東京商船大学	82	3	3.5%	103	5	4.6%
大阪外国語大学	146	21	12.6%	150	21	12.3%	山口大学	558	20	3.5%	741	40	5.1%
大阪教育大学	259	37	12.5%	281	44	13.5%	鳥取大学	425	15	3.4%	593	28	4.5%
滋賀大学	165	21	11.3%	171	23	11.9%	佐賀大学	311	10	3.1%	356	14	3.8%
北海道教育大学	360	45	11.1%	371	48	11.5%	岐阜大学	468	15	3.1%	648	34	5.0%
上越教育大学	137	17	11.0%	156	19	10.9%	一橋大学	254	8	3.1%	266	78	22.7%
愛知教育大学	241	29	10.7%	263	32	10.8%	名古屋大学	957	30	3.0%	1,521	68	4.3%
鹿屋体育大学	42	5	10.6%	57	5	8.1%	山梨医科大学	96	3	3.0%	216	20	8.5%
京都教育大学	121	14	10.4%	125	15	10.7%	佐賀医科大学	98	3	3.0%	218	18	7.6%
鳴門教育大学	134	15	10.1%	150	22	12.8%	東京農工大学	262	8	3.0%	365	13	3.4%
和歌山大学	150	16	9.6%	153	17	10.0%	小樽商科大学	103	3	2.8%	107	8	7.0%
東京芸術大学	152	15	9.0%	175	23	11.6%	高知医科大学	105	3	2.8%	277	18	7.3%
千葉大学	751	72	8.7%	1,042	134	11.4%	島根医科大学	70	2	2.8%	138	9	6.1%
福岡教育大学	180	17	8.6%	191	21	9.9%	九州工業大学	276	7	2.5%	351	13	3.6%
九州芸術工科大学	55	5	8.3%	70	5	6.7%	富山医科薬科大学	161	4	2.4%	311	20	6.0%
福島大学	223	20	8.2%	224	21	8.6%	秋田大学	330	8	2.4%	463	25	5.1%
兵庫教育大学	149	13	8.0%	167	16	8.7%	長岡技術科学大学	126	3	2.3%	167	4	2.3%
埼玉大学	369	28	7.1%	410	34	7.7%	東京大学	1,987	46	2.3%	3,626	209	5.4%
東京医科歯科大学	281	21	7.0%	575	66	10.3%	名古屋工業大学	260	6	2.3%	331	8	2.4%
宮城教育大学	124	9	6.8%	125	10	7.4%	北海道大学	1,191	27	2.2%	1,882	81	4.1%
横浜国立大学	421	28	6.2%	493	43	8.0%	電気通信大学	226	5	2.2%	283	8	2.7%
琉球大学	485	32	6.2%	696	50	6.7%	福井医科大学	94	2	2.1%	218	15	6.4%
茨城大学	424	27	6.0%	487	32	6.2%	宮城医科大学	96	2	2.0%	232	10	4.1%
富山大学	367	23	5.9%	412	33	7.4%	旭川医科大学	98	2	2.0%	231	11	4.5%
筑波大学	1,302	76	5.5%	1,435	95	6.2%	大分医科大学	102	2	1.9%	215	16	6.9%
弘前大学	406	23	5.4%	540	36	6.3%	九州大学	1,124	22	1.9%	1,957	108	5.2%
三重大学	484	27	5.3%	675	36	5.1%	京都大学	1,574	30	1.9%	2,607	92	3.4%
宮城大学	269	5	5.3%	303	16	5.0%	大阪大学	1,208	23	1.9%	2,131	85	3.8%
静岡大学	523	29	5.3%	595	35	5.6%	滋賀医科大学	110	2	1.8%	236	19	7.5%
香川大学	275	15	5.2%	292	26	8.2%	東北大学	1,225	21	1.7%	2,248	97	4.1%
大分大学	294	16	5.2%	320	20	5.9%	東京工業大学	564	9	1.6%	990	29	2.8%
宇都宮大学	301	16	5.0%	342	17	4.7%	豊橋技術科学大学	142	2	1.4%	187	3	1.6%
熊本大学	583	30	4.9%	802	72	8.2%	京都工芸繊維大学	220	3	1.3%	280	5	1.8%
山梨大学	234	12	4.9%	277	16	5.5%	北見工業大学	97	1	1.0%	124	1	0.8%
山神大学	768	39	4.8%	1,017	122	10.7%	帯広畜産大学	107	1	0.9%	140	4	2.8%
浜松医科大学	102	5	4.7%	227	13	5.4%	香川医科大学	113	1	0.9%	234	18	7.1%
広島大学	1,025	49	4.6%	1,519	99	6.1%	室蘭工業大学	164	1	0.6%	203	1	0.5%
高知大学	298	14	4.5%	324	16	4.7%	総合研究大学院大学	1	0	0.0%	1	0	0.0%
群馬大学	385	18	4.5%	583	26	4.3%	北陸先端科学 技術大学	29	0	0.0%	32	0	0.0%
信州大学	627	29	4.4%	849	51	5.7%	神戸商船大学	83	0	0.0%	98	0	0.0%
東京水産大学	109	5	4.4%	147	6	3.9%	奈良先端科学 技術大学	6	0	0.0%	6	0	0.0%
愛媛大学	568	26	4.4%	766	40	5.0%							
島根大学	313	14	4.3%	345	17	4.7%							
山形大学	517	23	4.3%	703	36	4.9%							
新潟大学	700	31	4.2%	966	73	7.0%							
徳島大学	436	19	4.2%	681	61	8.2%							
岩手大学	361	15	4.0%	411	20	4.6%							
計								35,841	1,733	4.6%	51,315	3,450	6.3%

国立大学学部学生数大学別一覽

(平成4年度)

大学名	男子学生数	女子学生数	女性比率	大学名	男子学生数	女子学生数	女性比率
奈良女子大学	0	1,980	100.0%	佐賀大学	3,738	1,528	29.0%
お茶の水女子大学	0	2,186	100.0%	宮崎大学	2,714	1,093	28.7%
兵庫教育大学	246	575	70.0%	徳島大学	3,372	1,325	28.2%
鳴門教育大学	216	489	69.4%	滋賀医科大学	446	172	27.8%
東京外国語大学	1,212	2,123	63.7%	浜松医科大学	457	176	27.8%
大阪外国語大学	1,649	2,659	61.7%	鹿児島大学	6,636	2,547	27.7%
奈良教育大学	498	803	61.7%	山口大学	6,025	2,255	27.2%
上越教育大学	327	507	60.8%	金沢大学	5,630	2,088	27.1%
図書館情報大学	275	421	60.5%	宇都宮大学	3,314	1,222	26.9%
宮城教育大学	750	1,059	58.5%	和歌山大学	1,914	704	26.9%
愛知教育大学	1,821	2,461	57.5%	山形大学	5,158	1,892	26.8%
大阪教育大学	1,965	2,604	57.0%	福井医科大学	469	167	26.3%
東京芸術大学	900	1,133	55.7%	宮崎医科大学	471	163	25.7%
福岡教育大学	1,506	1,735	53.5%	秋田大学	3,028	1,046	25.7%
東京学芸大学	2,696	2,876	51.6%	東京水産大学	1,003	335	25.0%
京都教育大学	932	960	50.7%	群馬大学	3,511	1,149	24.7%
北海道教育大学	2,856	2,717	48.8%	高知医科大学	457	149	24.6%
岐阜大学	3,976	2,595	39.5%	神戸大学	8,994	2,904	24.4%
富山医科大学	664	427	39.1%	鹿屋体育大学	539	166	23.5%
東京医科歯科大学	827	504	37.9%	鳥取大学	3,658	1,075	22.7%
佐賀医科大学	389	216	35.7%	信州大学	6,888	1,976	22.3%
帯広産産大学	782	422	35.0%	福井大学	2,609	746	22.2%
弘前大学	3,362	1,796	34.8%	山梨大学	2,608	730	21.9%
島根大学	2,885	1,532	34.7%	旭川医科大学	521	143	21.5%
高知大学	2,740	1,431	34.3%	横浜国立大学	6,894	1,760	20.3%
香川大学	3,025	1,556	34.0%	名古屋大学	7,317	1,853	20.2%
茨城大学	4,634	2,315	33.3%	東京農工大学	3,369	835	19.9%
滋賀大学	2,041	1,010	33.1%	北海道大学	8,930	2,124	19.2%
筑波大学	6,062	2,969	32.9%	九州大学	8,964	2,121	19.1%
三重大学	4,136	2,025	32.9%	山梨医科大学	494	113	18.6%
香川医科大学	401	196	32.8%	九州芸術工科大学	628	122	16.3%
富山大学	4,252	2,063	32.7%	大阪大学	9,986	1,846	15.6%
千葉大学	8,045	3,829	32.2%	東北大学	9,755	1,602	14.1%
熊本大学	5,462	2,576	32.0%	一橋大学	4,232	662	13.5%
福島大学	2,908	1,359	31.8%	東京大学	13,707	2,086	13.2%
新潟大学	6,583	3,006	31.3%	京都大学	11,383	1,689	12.9%
埼玉大学	4,493	2,036	31.2%	京都工芸繊維大学	2,887	404	12.3%
小樽商科大学	1,396	631	31.1%	東京商船大学	753	65	7.9%
小笠原大学	9,063	4,073	31.0%	九州工業大学	4,695	396	7.8%
静岡大学	5,385	2,403	30.9%	豊橋技術科学大学	1,042	74	6.6%
大分医科大学	415	185	30.8%	神戸商船大学	915	54	5.6%
琉球大学	4,377	1,928	30.6%	名古屋工業大学	5,276	291	5.2%
岡山大学	7,226	3,162	30.4%	東京工業大学	4,788	263	5.2%
愛媛大学	5,809	2,473	29.9%	電気通信大学	4,156	217	5.0%
岩手大学	3,883	1,653	29.9%	室蘭工業大学	2,787	134	4.6%
長崎大学	4,798	2,005	29.5%	北見工業大学	1,572	75	4.6%
島根医科大学	443	185	29.5%	長岡技術科学大学	1,019	40	3.8%
大分大学	3,175	1,317	29.3%				
合 計				合 計	321,195	125,743	28.1%

## 所属分野別に見た教員の女性比率

(1990年)

学 部	女性比率	学 部	女性比率	学 部	女性比率	学 部	女性比率
人文系平均	8.8	工芸学部	1.1	歯学部	9.7	法文学部	6.5
文学部	7.5	芸術工学部	5.6	薬学部	7.1	国際関係学部	6.0
外国語学部	13.4	電気通信学部	2.3	看護学部	69.1	国際学部	10.2
人文学部	6.6	鉱山学部	0.0	家政学部	50.0	自然科学系小計	1.5
社会学部	23.1	情報工学部	5.2	教育系平均	10.7	理工学部	0.8
社会科学系平均	11.6	農学系平均	1.6	教育学部	10.6	生命理工学部	2.6
法学部	12.9	農学部	1.6	学校教育学部	11.3	その他小計	6.0
法経学部	7.9	園芸学部	2.5	芸術系平均	9.0	人間科学部	3.6
経済学部	10.1	獣医学部	0.0	美術学部	3.0	総合科学部	7.4
経営学部	19.0	畜産学部	2.8	音楽学部	15.9	付置研究所	5.0
商学部	14.5	水産学部	1.3	教養系平均	6.1	大学院	4.4
行政社会学部	9.8	繊維学部	1.2	教養学部	6.7	付属病院	6.0
理学部	3.2	生物生産学部	0.0	教養部	6.0	その他	7.1
工学系平均	1.7	生物資源学部	0.7	その他平均	6.1		
工学部	1.7	医学系平均	7.4	人文社会系小計	10.8		
基礎工学部	0.5	医学部	6.5	文教育学部	33.3		

## 学生、大学院学生、および教員の女性比率の変化

<国立>

	1990年実数		女性比率			
	計	女性	1976	1980	1985	1990
学生	518,609	129,762	23.3	20.7	23.9	25.0
大学院生MC	39,484	5,583	7.5	9.6	10.9	14.1
DC	18,401	2,520	6.5	8.0	6.5	13.7
教員	53,765	3,228	5.2	5.1	5.4	6.0
教授	16,520	401	1.5	1.6	1.9	2.4
助教授	14,562	726	3.2	3.5	4.1	5.0
講師	5,246	409	6.5	6.4	6.7	7.8
助手	17,300	1,692	9.0	9.0	8.9	9.8

<公立>

	1990年実数		女性比率	
	計	女性	1980	1990
学生	64,140	23,483	29.8	36.6
大学院生MC	2,392	456	15.5	19.1
DC	1,498	254	9.9	17.0
教員	6,592	628	9.6	9.5
教授	1,914	93	3.9	4.9
助教授	1,567	139	6.8	8.9
講師	916	91	8.6	9.9
助手	2,156	304	15.7	14.1

<私立>

	1990年実数		女性比率	
	計	女性	1980	1990
学生	1,550,613	430,910	22.2	27.8
大学院生MC	20,008	4,225	18.5	21.1
DC	8,455	1,498	10.5	17.7
教員	63,481	7,543	11.4	11.9
教授	25,603	1,714	5.2	6.7
助教授	12,609	1,446	10.3	11.5
講師	10,138	1,417	12.7	14.0
助手	14,652	2,945	20.7	20.1

<短大>

	1990年実数		女性比率	
	計	女性	1980	1990
学生	479,389	438,443	89.0	91.5
教員	20,489	7,818	38.6	38.2
学長	404	51	14.8	12.6
副学長	116	10	9.9	8.6
教授	7,652	1,930	21.3	25.2
助教授	5,666	2,148	39.3	37.9
講師	4,728	2,187	46.6	46.3
助手	1,923	1,492	75.7	77.6



[出典・典拠]

- 京都大学女性教官数、京都大学女子学生比率：京都大学調べに基づき作表。
- 国立大学女性教員数大学別一覧、国立大学学部学生数大学別一覧：国立大学協会編集・発行「文化学術立国をめざして—国立大学は訴える—」1995年11月発行、東京大学出版会。
- 所属分野別に見た教員の女性比率、学生、大学院生、および教員の女性比率の変化：日本婦人団体連合会編：「婦人白書1994。男女平等の現状—ナイロビから10年」1994年8月25日刊、ほるぷ出版。

## 大学における性差別問題の相談受入れ体制について

(1995.6.1 京大広報 No.487)

本学における性差別にかかわる人権問題が生じた際の対応について、昨年5月より部局長会議において検討され、10月には、セクシュアル・ハラスメントに関する相談等はプライバシーにかかわる事柄でもあるので、原則として各部局で対応することとされた。

これを受けあるいはそれ以前から、各部局においては、問題対応のための組織を設けるなど、それぞれ検討を行ってきた。

その後さらに、部局長会議において、各部局における相談受入れ体制について検討された結果、原則として、それぞれの庶務担当掛等を通して文書又は口頭により部局長へ申し出ることとなり、各部局においては、具体的な相談受入れ体制が部局内に設けられていることを周知徹底することとなった。また、各部局の相談等の活動に関しては、各部局に助言等を行う全学的な組織を設けることとされている。

## **【参考】京都大学女性教官懇話会について**

京都大学女性教官懇話会は、1981年夏に発足。その発端は、1980年暮れ、京都大学が国連ユネスコ代表団を迎えて総長主催のパーティーを開いたことにある。当時そのパーティーのために、講師以上の女性教員約10名に招待状が送られ、うち3名が出席。これを機会に、3～4名の呼びかけ人をもって、女性教官懇話会を81年夏に発足させた。

現在の活動の主なものには、まず、年2回程度開催される研究会があり、会員の専門分野にかんしての研究発表を行い、ひきつづいては親睦会あるいは総会がもたれている。

さらには年に一回、総長との懇談会を持っており、毎年3月が定例となって、京都大学における女性教員の採用の増加、女性教員をめぐる環境などについて、懇談を行っている。

## **京都大学女性教官懇話会 規約**

第一条〔目的〕 京都大学女性教官懇話会（以下懇話会と略称）は、左記の目的をもって結成される。

1. 京都大学における女性教官相互の親睦と交流
2. 各自が当面する諸問題についての情報の交換
3. 女性研究者の地位の向上と差別の撤廃

第二条〔会員および組織〕

1. 懇話会は京都大学および医療技術短期大学部に在職する女性教官（助手・講師・助教授・教授）および医員、技官、教務職員、非常勤講師、元教官によって構成される。
2. 懇話会には各部局を基盤に若干名の世話人をおき、その中からさらに数名の幹事および会計監事を委嘱する。
3. 懇話会には代表および書記を置く。代表および書記は総会において選出するものとし、任期は一年とする。

第三条〔総会〕

1. 懇話会は年一回以上総会を開催する。総会では次の事項を討議する。
  - Ⅰ 懇話会の活動についての審議、決定および報告。
  - Ⅱ 各部局の状況の説明、および個別的な活動に関する報告と意見の交換。
  - Ⅲ 会計報告と人事の承認
2. 総会には議長をおく。
3. 総会の決定は出席者の合意による。但しやむを得ず出席できない時、あらかじめ世話人を通じて、口頭または書面で申し出られた意見は、出席者の意見に準じて取扱われる。

第四条〔会費〕 会員は年会費（五百円）を納入するものとする。

第五条〔規約の改正〕 本規約の改正は、総会において委任状を含む出席者の四分の三の賛成を得て行うことができる。

## **懇話会の活動形態についての申し合せ**

1. 懇話会は京都大学における自主的な組織として活動する。
2. 会員は、総会で承認された懇話会の活動に参加するほかに、会の目的に合致する、自主的で多様な活動を、個人またはグループの責任において行う自由を尊重される。
3. 個人またはグループの責任において行う個別的な活動は、世話人に連絡することによって懇話会の援助を受けることができる。